

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 5 月 13 日(2025.5.13)

【公開番号】特開 2025-71097(P2025-71097A)
【公開日】令和 7 年 5 月 2 日(2025.5.2)
【年通号数】公開公報(特許)2025-080
【出願番号】特願 2025-9377(P2025-9377)
【国際特許分類】

A 6 1 M 16/08(2006.01)

10

A 6 1 M 16/06(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/08 3 3 0

A 6 1 M 16/06 C

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 25 日(2025.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガスを患者に提供するための気体送達導管用のコネクタアセンブリ用のコネクタであって、

少なくとも 1 つの長手方向隆起を有する内部表面を含み、

前記コネクタは、連結アダプタを受け入れ可能な第 1 の孔と、導管を受け入れ可能な第 2 の孔と、を提供する、
コネクタ。

30

【請求項 2】

前記内部表面は、前記内部表面の周縁の周りに形成された係止溝を含む、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 3】

前記係止溝は、前記少なくとも 1 つの長手方向隆起と前記第 2 の孔との間で前記内部表面の周縁の周りに延びる、請求項 2 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記コネクタは、前記第 1 の孔の周りに配置されたリップを含み、前記リップは、シール面を提供する、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 5】

40

前記少なくとも 1 つの長手方向隆起は、幅または高さにおいて前記第 1 の孔に向かってテーパ状である、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 6】

前記コネクタは、前記コネクタの外部表面上に形成された 1 つまたは複数の指溝をさらに含む、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 7】

前記第 2 の孔は、2 つの開口部を含み、各開口部は、患者インタフェースにガスを提供する導管を受け入れ可能である、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 8】

前記 2 つの開口部は、互いに隣接して配置されている、請求項 7 に記載のコネクタ。

50

【請求項 9】

前記第 2 の孔は、前記コネクタの角度のある表面によって囲まれており、前記角度のある表面は、気流を前記導管内に注ぎ込むように、前記第 2 の孔の内側端部を囲むとともに下流に向かってテーパ状である、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 10】

前記コネクタは、前記コネクタのサイズ情報を示すために着色されている、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 11】

前記コネクタの前記第 1 の孔は、ガスの流れを受け入れるように構成されている、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 12】

前記第 1 の孔および前記第 2 の孔は、実質的に同軸である、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 13】

前記第 1 の孔は、直径が前記第 2 の孔よりも大きい、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 14】

請求項 1 に記載のコネクタおよび前記導管を含むアセンブリであって、前記コネクタの前記第 2 の孔は、前記導管を受け入れる、アセンブリ。

【請求項 15】

患者にガスを供給するための患者インタフェースであって、前記患者インタフェースは、導管と、請求項 1 に記載のコネクタとを含み、前記コネクタは、前記導管の端部に取り付けられる、患者インタフェース。

【請求項 16】

2 つの導管を含み、前記コネクタの前記第 2 の孔は、2 つの開口部を含み、各開口部はそれぞれの導管に取り付けられる、請求項 15 に記載の患者インタフェース。

【請求項 17】

各導管は、ターミナル端部において、患者の外鼻孔に挿入するためのプロングに連結する、請求項 16 に記載の患者インタフェース。

【請求項 18】

請求項 1 に記載のコネクタと、前記連結アダプタと、を含む、コネクタアセンブリ。

【請求項 19】

前記連結アダプタは、前記連結アダプタと係合するときの前記コネクタに対して回転可能である、請求項 18 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 20】

前記コネクタの前記内部表面は、前記内部表面の周縁の周りに形成された係止溝を含み、前記連結アダプタは、前記コネクタの前記係止溝との係合のためのカラーを含む、請求項 19 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 21】

前記カラーは、前記連結アダプタの端部に配置されている、請求項 20 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 22】

前記連結アダプタは、第 2 のコネクタに着脱可能に取り付けるように構成された 1 つまたは複数の係止指を有する連結アダプタ本体を含み、前記 1 つまたは複数の係止指は、前記連結アダプタ本体から長手方向に突出している、請求項 19 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 23】

前記連結アダプタは、各係止指上に形成された 1 つまたは複数の係止凹部をさらに含み、前記 1 つまたは複数の係止凹部は、前記第 2 のコネクタ上に形成された係止タブと係合するように構成されている、請求項 22 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 24】

10

20

30

40

50

前記 1 つまたは複数の係止指は、前記第 2 のコネクタ上の 1 つまたは複数のアライメントタブと相互作用するように構成され、これにより、前記連結アダプタが前記第 2 のコネクタに連結されるときに前記 1 つまたは複数の係止凹部が前記第 2 のコネクタ上の 1 つまたは複数の係止タブと整列する、請求項 2 3 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 2 5】

前記連結アダプタが、前記連結アダプタ本体の外部表面上に形成されたチャンネルをさらに含み、前記チャンネルは、前記コネクタの前記内部表面上に形成された前記少なくとも 1 つの長手方向隆起と回転可能に係合するように構成されている、請求項 1 8 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 2 6】

前記連結アダプタは、前記連結アダプタの内部表面上で長手方向に延びる 1 つまたは複数の突起をさらに含む、請求項 1 8 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 2 7】

前記突起は、前記連結アダプタの内部周縁に沿って等間隔で配置されている、請求項 2 6 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 2 8】

前記連結アダプタは、第 2 のコネクタと連結され、前記第 2 のコネクタは、気体送達チューブに連結される、請求項 1 8 に記載のコネクタアセンブリ。

【請求項 2 9】

前記コネクタと前記第 2 のコネクタとの間にシールが形成される、請求項 2 8 に記載のコネクタアセンブリ。

10

20

30

40

50